



日野市環境情報センター(愛称かわせみ館)は環境に関する情報を収集・分析・発信するために、2005 年7月に市民・事業者・学校・行政の協働で開設されました。

百草山緑地の保全活動に参加しませんか

会員が団塊世代中心の「日野団塊世代広場」では、日野市が百草地区に所有する雑木林を、ボランティア活動の一環として保全・活用する取り組みを行っています。活動場所は多摩丘陵の一部を構成しており、京王百草園の北から西側に位置し、川崎街道の南側に広がる約 3.5ha の雑木林を主体とした緑地です。

活動開始時の区域内の状況はモウソウチク、マダケの竹林が広がり、クヌギ、コナラなどの雑木が大径木化し林床に日が差し込まない状態で、ヒサカキなどの常緑低木やアズマネザサがはびこり、里山としての手入れがしばらく行われていない暗い雑木林でした。「明るい雑木林」を目標に手入れをスタートし、モウソウチク等の適正な駆除、ヒサカキ等の常緑低木の整理、作業道の整備を行っています。

管理作業を始めて4年目になりますが、手つかずのエリアが多く残っており、現在の活動人数では緑地の一部の管理が精いっぱい状況です。

作業の人達は、「雑木林ボランティア講座」の卒業生が多くを占めています。未経験の方も新しい仲間として大歓迎です。「明るい雑木林」づくりに参加し共に汗を流しましょう。



日野団塊世代広場 中山達雄

春の百草山緑地

環境保全に取り組んでいる団体紹介 8 日野団塊世代広場

「日野団塊世代広場」は、『生きがい、働きがい、地域がい』を持って、健康で生活を楽しみながら地域づくりに貢献することを目的として活動しています。新選組やよさこいまつり等のイベントのお手伝い、パソコン・太極拳の教室等も開催しています。

活動の一環として2009年から百草山での「明るい雑木林」づくりに取り組んでいます。会の中に10人で雑木林チームを編成しています。うち7人は「雑木林ボランティア講座」の修了生です。

雑木林チームの活動として、林の手入れ作業を行いながら次のような取り組みを行っています。

- ①地域の方たちが社会参加する機会と場の提供
- ②植物の貴重種の確認など現況の調査
- ③植物・野鳥・昆虫などの観察会および地域の歴史・文化についての勉強会の実施
- ④市民団体などと連携して、市民が雑木林の恩恵にあずかれるようなイベントを実施(椎茸のホダギ作り、竹細工、染色講座など)
- ⑤産業まつりやくらしのフェスタに出展し日野団塊世代広場のPRや手作り品等の販売

活動場所は、京王百草園駅から徒歩5分、百草園の北側に隣接した仮称百草山緑地で、活動日は第2日曜日、第4土曜日9時～15時です。

連絡先：日野団塊世代広場事務所（日野市平山台健康・市民支援センター内）

電話：042-843-8723(火曜・土曜10時～14時)

E-mail：info@dsedai.com



団塊世代広場の百草山での作業

百草山での中大生の取り組み

私たちは中央大学のゼミ活動の一環として、かわせみ館の方々と活動させていただいています。

その活動で先日、日野団塊世代広場の方々にご指導いただきながら百草山の実情をのぞき、さらに竹切りなどの様々な体験をさせていただきました。百草山には珍しい植物があったり、日野のまちを見下ろすことができたりと、普段見られないものを見ることができました。広場の方々は気さくで優しい方ばかりで、山での活動が初めてだった私たちもとても楽しく活動できました！



モウソウチクの伐採作業



作業参加者

中央大学経済学部3年 又平賢佑

日野の貴重植物、押し葉標本展・写真展が開催されました

押し葉標本は時代が進歩しても変わりません。写真では植物の実態がつかめませんが、押し葉標本ならば部分的に取り出すことができます。私は1972年～2000年に「植物標本」を作成してきました。これらは三多摩地方のもので、茨城県つくば市にある国立科学博物館に250点を寄贈(2005年12月)しました。2010年8月1日から2013年8月1日までの3年間で、日野市内にある「東京都の保護上重要な野生植物種(本土部)」「都レッドデータブック」約50種についての押し葉標本を新たに作りたいと考え、日本のクレマチス研究の第一人者で、東京都立翔陽高校教諭の三池田修氏と、日野市環境情報センターの加藤勝康氏に協力していただきました。

標本を台紙に貼りラベルを付ける作業は、2013年3月に、三池田氏・加藤氏のほか、日野市郷土資料館七生丘陵調査団・都立日野高校長谷川先生・日野高校柳さんにご協力をいただき完成しました。参考までに作成した標本の一部を紹介します。シロバナカザグルマ(絶滅危惧ⅠA類)、バアソブ(絶滅危惧ⅠB類)、カタクリ(絶滅危惧Ⅱ類)、キセルアザミ(絶滅危惧ⅠA類)、カキラン(絶滅危惧ⅠB類)、コオニユリ(絶滅危惧Ⅱ類)、タマノカンアオイ(絶滅危惧Ⅱ類)、オカタツナミソウ(絶滅危惧ⅠA類)、キンラン(絶滅危惧Ⅱ類)、カワラサイコ(絶滅危惧Ⅱ類)、レンリソウ(絶滅危惧Ⅱ類)などです。

標本は、新選組のふるさと歴史館収蔵庫に収納していただくことになりました。これらの押し葉標本は、事前にお申し出があれば、植物の研究などにご利用いただけます。

植物研究家 播本 正常



解説をする播本さん

日野の水の中の生きものたち 魚のたべもの

私が住んでいる東光寺には日野用水が流れておりよく子供たちがあみで魚をとっています。魚の種類としてはオイカワやカワムツ、タモロコなどが多いようです。そんな魚達は何を食べているのでしょうか？

川の中には 私たち人間が食べ残したごみのようなものから 石にはえたコケや水草などさまざまなものがあります。でもほとんどの魚は川虫が大好きです。では日野の川や用水には どんないんち虫がいるのでしょうか？



よく見られるのは写真のシロタニガワカゲロウやエルモンヒラタカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラ、シマトビケラの仲間などですが とても小さいユスリカやコカゲロウのなかまなどもあります。

流れの中のこぶし大の石を素早く持ち上げてみてください。石にしがみついたこれらの川虫達にあなたも出会えますよ。

水生生物研究家 鶴田大三元

行事・イベントのお知らせ

■みんなの環境セミナー 自然エネルギー

- ・内容：太陽光や小水力発電を実践的に学びます。
- ・日時：7月27日(土)午前9時30分～正午
- ・場所：七生中学工作室
- ・講師：エコライフ研究家 高野達男氏
- ・定員：親子12組(先着順) 小学生4～6年
- ・参加費：材料代300円

・申込：かわせみ館へ電話で

■みんなの環境セミナー 浅川で遊ぼう

- ・内容：浅川の水生昆虫観察とあんま釣り
- ・日時：8月17日(土)午前9時30分～正午
- ・場所：集合潤徳小学校 観察は浅川
- ・講師：水生生物研究家 鶴田大三元氏
- ・定員：小学生の親子10組(先着順)
- ・申込：かわせみ館へ電話で



発行：日野市環境情報センター

〒191-0011 東京都日野市日野本町1-6-3

☎ 042-581-1164 (FAX 兼)

Eメール kankyo@m2.hinocatv.ne.jp

URL <http://www1.hinocatv.ne.jp/kankyo/>